

グローバル補助金活用事例紹介

2024年1月27日

国際ロータリー第2610地区 2023-24年度ロータリー財団補助金管理セミナー

地区財団委員 グローバル補助金担当 原田 充(河北南ロータリークラブ)

ご紹介する内容

- 1 グローバル補助金事例 事業概要
- 2 グローバル補助金 申請の流れ
- 3 まとめ

1 グローバル補助金事例 事業概要

プロジェクト名 “Aging and Hearing Health Program”
「高齢化と聴覚健康プログラム」

プロジェクトの概要

- ・台湾農村部の聴覚障がい高齢者に聴覚ケア車による移動予防医療サービスを提供することによって、聴覚ネグレクトの習慣や間違いを改める目的
- ・聴覚障害によるうつ病や認知症を予防し、個々の家族や社会の医療費を削減
- ・聴覚障がい高齢者が聴覚と自信を取り戻し、生活の質を向上させるために聴覚ケアに集中できるようにする

1 グローバル補助金事例 事業概要

補助金プロジェクト参加クラブ

実施国側提唱者：台北新都ロータリークラブ（第3521地区）

援助国側提唱者：河北南ロータリークラブ（第2610地区）

協力団体 台湾難聴地域福祉協会

社会福祉団体として初めて難聴者の予防医療を行っている

1 グローバル補助金事例 事業概要

ロータリアンの活動内容

- ・トレーニングセッション

高齢者聴覚ケアサービスの意義と目的、サービス提供方法を参加者に理解してもらうために研修会に参加

- ・農村部の高齢者の送迎を手伝う

- ・聴覚ケア講話開催

地域の高齢者に聴覚アンケート、聴覚ケアマニュアルを配布

聴覚の健康マッサージや聴覚アンケート記入、フォロー

- ・聴覚スクリーニング

聴覚サービス車に高齢者を誘導し、乗車支援

検査後、高齢者を聴覚相談エリアへ案内し、検査結果や対処法についてのアドバイスをサポート

1 グローバル補助金事例 事業概要

プロジェクトの予算(支出内容)

カテゴリー	内容	業者	経費(米ドル)
機材	聴力検査関連施設・設備	Sivantos Pte Ltd.	23,000
運営	補聴器試着サービス料 (年間60回)	台湾難聴地域福祉協会の聴覚専門家と 補聴器ディスペンサーが提供するサービス	4,000
運営	一人暮らしの低所得高齢者に 16~20台の補聴器を助成又は 寄付する	台湾難聴地域福祉協会の聴覚専門家と 補聴器ディスペンサーが提供するサービス	16,000
運営	補聴器維持費(年間60回)	台湾難聴地域福祉協会の聴覚専門家と 補聴器ディスペンサーが提供するサービス	2,000
広報	プロモーション料金	台湾難聴地域福祉協会	1,000
旅行	給油料、高速道路通行料などの 輸送費	台湾難聴地域福祉協会の聴覚専門家と 補聴器ディスペンサーが提供するサービス	2,000
予算総額			48,000

1 グローバル補助金事例 事業概要

プロジェクト調達資金の内容

資金源	明細	金額(米ドル)	追加金(管理費5%)	合計(米ドル)
地区財団活動資金(DDF)	第3521地区(台北)	5,000	—	5,000
地区財団活動資金(DDF)	第3630地区(韓国・慶州)	5,000	—	5,000
クラブからの現金拠出金	河北南ロータリークラブ	3,000	150	3,150
クラブからの現金拠出金	台北新都ロータリークラブ	27,000	1,350	28,350
小 計		40,000	1,500	41,500
国際財団活動資金(WF)	地区財団活動資金(DDF)合計の80%上乗せ	8,000	—	8,000
合 計		48,000	1,500	49,500

1 グローバル補助金事例 事業概要

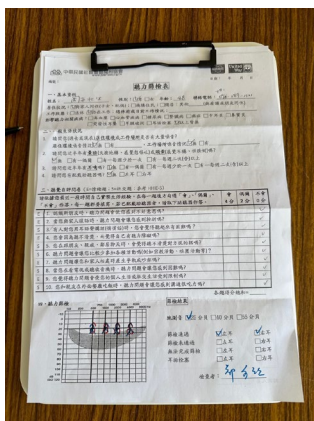
活動風景(2023年11月4日 新北市平溪区)



新北市平溪区衛生所に
高齢者が集まっています
聴覚アンケートの記入、
聴覚ケア講話や聴覚の
健康マッサージを行います



聴力検査車



聴覚アンケート
※この画像は聴覚検査の結果も
記入済になっています



誘導と乗車支援

検査車の中

2 グローバル補助金 申請の流れ

年 月	内 容
2013年	新都RC創立
2015年度以降	「高齢化・聴覚健康プログラム」をから開始
2016年4月	河北南RCと新都RC間で有効クラブ調印式
2022年2月～3月	より多くの聴覚障害の人々にこの恩恵を享受できるようにするため、国際ロータリーへグローバル補助金を申請することを決める ・河北南RCへ支援要請(3,000ドル) ・2610地区へ支援要請(5,000ドル) ※当初は2022年5月末までに申請書提出を予定していた
2022年4月末	河北南RCは支援要請に応じることを決定 2610地区は「支援できない」ことを回答 この規定が変更されます
2022年9月	新都RCは他地区で支援してもらう方法を模索し、韓国・第3630地区より地区財団活動資金の支援を受けることができた
以降	RIの補助金申請仕様が変更され、資料の再作成等に多くの時間が掛かる
2023年5月	申請承認

3 まとめ

- ◆グローバル補助金は「実施国側提唱者」として取り組むほかに、今回の事例のように「援助国側提唱者」として取り組むことができます
- ◆今般のグローバル補助金における地区財団活動資金(DDF)利用規定によりクラブ規模が小さいクラブでも活用しやすい制度になりました
- ◆申請は「マイロータリー」から申請します。仕様変更も多く、RIからアドバイスをもらった上で計画に対する変更修正に多くの時間が掛かります。申請には半年～1年程度時間が掛かります

グローバル補助金活用事例紹介

ご清聴、ありがとうございました